



関西圏域における新型コロナウイルス感染症への対応等について

(第 33 回 関西広域連合 新型コロナウイルス感染症対策本部会議)

令和 4 年 7 月 21 日

広 域 防 災 局

【議事】

- ・ 関西圏域における新型コロナウイルス感染症の発生状況について
- ・ 新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等について
- ・ 府県市民向け宣言（案）について

[資 料]

- 別添 1-1 関西圏域における新型コロナウイルス感染症の発生状況
- 別添 1-2 各府県の対処方針に基づく主な措置内容
- 別添 2 新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等
- 別添 3 全国知事会緊急提言等
- 別添 4 府県市民向け宣言（案）

- 1 関西圏域における医療提供体制等の状況
- 2 感染者の措置状況
- 3 直近の感染者数
- 4 年齢別新規感染者数
- 5 年齢別新規感染者数 対人口割合
- 6 第5波と第6波の新規感染者の状況

(参考1) 関西圏域における新規感染者数の推移

(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の感染者数

※本資料では、新規陽性者数に疑似症患者を含めて算出。

1

1 関西圏域における医療提供体制等の状況（7月14日0:00時点）

	人口	確保病床 使用率	確保病床 使用率 【重症患者】	新規陽性者 (最近1週間)	新規陽性者の1 週間対比	陽性率 (最近1週間)	重症者数	自宅療養者数及 び療養等調整中 の数の合計値
単位	千人	%	%	対人口 10万人	前週比	%	人	対人口10万人
滋賀県	1,414	49.9	2.0	266.5	2.24	27.5	1	263.2
京都府	2,578	25.9	8.2	325.5	2.19	52.9	14	480.0
京都市	1,464	— ※1	— ※1	332.4	2.24	28.8	1	423.3
大阪府	8,838	28.1	18.1	548.7	2.24	33.5	270	643.9
大阪市	2,752	— ※1	— ※1	296.5	2.13	26.5	0	763.7
堺市	826	— ※1	— ※1	421.1	2.12	35.1	0	439.0
兵庫県	5,465	34.5	3.5	317.7	2.16	40.6	5	305.8
神戸市	1,525	50.8	2.2	385.9	2.02	15.4	1	313.3
奈良県	1,324	25.6 ※2	7.4 ※2	297.5	2.77	36.9	2	335.9
和歌山県	923	54.2	0.0	341.5	2.09	43.5	0	272.0
鳥取県	553	21.7	0.0	408.9	2.04	18.1	0	443.0
徳島県	720	23.6	0.0	190.8	2.16	37.9	0	193.6
関西計	21,815	30.7	14.9	406.6	2.23	36.0	294	455.2

※1京都市、大阪市、堺市については非公表

※2奈良県の確保病床使用率は運用病床数で算出

2

2 感染者の措置状況（7月14日0:00時点）

区分		滋賀県	京都府	京都市	大阪府	大阪市	堺市	兵庫県	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	計	%	
全療養者		4,056	1,1647	6,522	60,778	22,237	3,931	18,037	7,145	4,886	2,875	2,638	1,558	106,475	100.0%	
内訳	入院 ※1	重症	1	1 ※2	1 ※2	6 ※3	0	0	5	1	2	0	0	0	15	0.0%
		中等症 以下	162	242	147	1,262	386	168	523	174	100	277	53	62	2,681	2.5%
	自宅療養	3,674	11,034	6,197	43,610	18,470	3,589	14,594	4,564	4,447 ※4	2,511	2,024	1,394	83,288	78.2%	
	宿泊療養	171	370	177	2,786	1,232	174	621	207	337	87	135	102	4,609	4.3%	
	調整中	48	0	0	13,114	2,149	0	2,294	2,199	0	0	426	0	15,882	14.9%	

※1 確保病床への入院者数

※2 京都府は重症者について独自に人工呼吸器管理又は体外式心肺補助（ECMO）による管理が必要な方を計上

※3 大阪府における重症者の定義は、「重症病床におけるICU入室・人工呼吸器装着・ECMO使用」のいずれかに該当する者（国定義におけるHCU等入室者は含めない）

※4 奈良県における自宅療養は入院待機中を含む

3

3 直近の感染者数（公表日ベース）

区分		滋賀県	京都府	京都市	大阪府	大阪市	堺市	兵庫県	神戸市	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	計	
R3	8/2(月)	55	120	103	448	220	32	165	55	35	40	14	11	888	緊急事態宣言 (大阪)
	8/20(金)	210	548	380	2,586	1,142	177	907	292	190	90	22	28	4,581	緊急事態宣言 (京都・兵庫)
	9/13(月)	32	99	79	452	196	39	191	60	41	9	2	13	839	緊急事態宣言延長
	10/1(金)	20	35	21	241	109	23	84	35	11	9	3	3	406	緊急事態宣言解除
R4	1/27(木)	763	1,706	984	9,711	2,880	945	4,303	1,505	934	490	139	141	18,187	まん延防止等重点措置 (京都・大阪・兵庫)
	2/5(土)	971	2,644	1,758	12,302	1,892	1,147	5,855	1,965	1,028	552	103	184	23,639	まん延防止等重点措置 (和歌山)
	2/21(月)	725	1,377	845	4,702	1,179	530	2,497	490	928	267	116	228	10,840	まん延防止等重点措置 延長
	3/7(月)	493	760	375	2,037	692	190	1,362	297	584	172	56	164	5,628	まん延防止等重点措置 再延長 (和歌山は措置解除)
	3/22(火)	180	226	92	998	260	110	629	247	189	78	77	68	2,445	まん延防止等重点措置 解除
	7/15(金)	990	1,941	1,147	9,745	3,326	775	5,431	1,444	993	632	400	298	20,430	
	7/16(土)	741	2,214	1,280	12,351	4,154	1,057	5,068	1,665	1,223	644	370	335	22,946	
	7/17(日)	991	2,467	1,666	10,804	3,765	990	5,573	1,460	1,180	791	414	366	22,586	
7/18(月)	1,054	1,895	1,261	4,859	1,532	509	3,302	706	1,049	449	284	286	13,178		

(報道資料を基に作成)

4

4 年齢別新規感染者数（R4.7.6～ R4.7.12）

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	関西計	%
10歳未満	786	1,271	5,214	1,820	683	511	342	220	10,847	15.4
10代	555	1,422	6,736	2,456	850	470	203	168	12,860	18.3
20代	500	1,221	6,658	1,964	588	251	169	112	11,463	16.3
30代	553	1,014	5,592	1,776	550	351	225	138	10,199	14.5
40代	497	1,116	5,451	1,808	545	364	223	140	10,144	14.4
50代	304	726	3,777	1,303	389	203	145	73	6,920	9.8
60代	183	490	1,720	689	238	117	100	60	3,597	5.1
70代	135	323	1,232	443	144	98	65	29	2,469	3.5
80代	88	187	784	230	61	52	23	15	1,440	2.0
90代以上	48	65	220	90	24	4	23	10	484	0.7
計	3,649	7,835	37,384	12,579	4,072	2,421	1,518	965	70,423	100.0

※ 年代不明・非公表等の人数は含まれない

※ 厚労省公表資料では、個人情報保護の観点から原則4人以下の項目は非公表であるが、割合算出のため「2」として計上
(厚生労働省公表資料を基に作成)

5

5 年齢別新規感染者数（R4.7.6～ R4.7.12）対人口割合

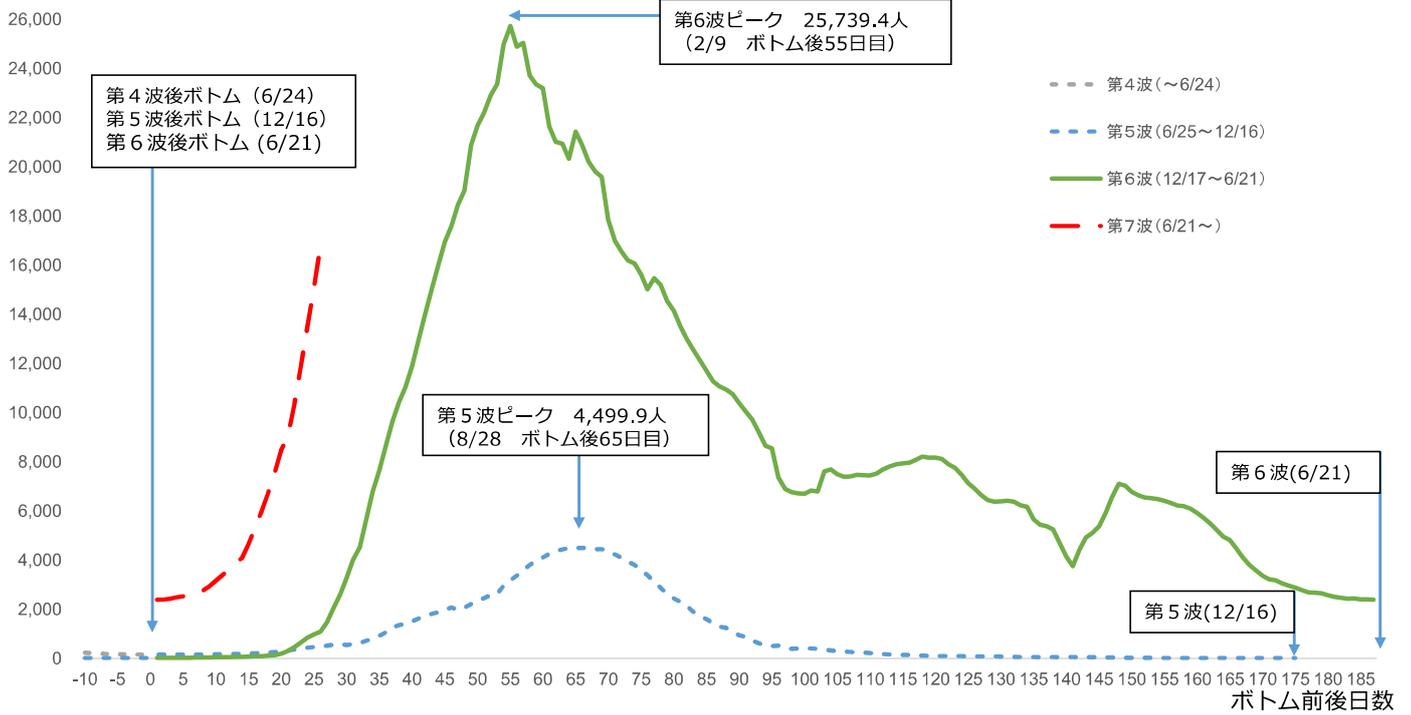
(単位：%)

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県	関西全体
10歳未満	0.66	0.69	0.80	0.44	0.72	0.79	0.80	0.46	0.67
10代	0.40	0.63	0.89	0.50	0.71	0.60	0.41	0.29	0.67
20代	0.34	0.42	0.68	0.38	0.51	0.35	0.38	0.19	0.52
30代	0.35	0.38	0.57	0.31	0.44	0.40	0.40	0.20	0.44
40代	0.24	0.31	0.43	0.24	0.31	0.31	0.31	0.15	0.33
50代	0.16	0.21	0.30	0.17	0.22	0.16	0.22	0.08	0.23
60代	0.11	0.17	0.18	0.10	0.14	0.10	0.13	0.06	0.14
70代	0.08	0.09	0.11	0.06	0.07	0.07	0.09	0.03	0.08
80代以上	0.12	0.10	0.13	0.06	0.06	0.05	0.07	0.03	0.09
新規感染者数/全人口	0.26	0.31	0.42	0.23	0.31	0.27	0.28	0.14	0.32

(厚生労働省公表資料、総務省統計局「人口推計」令和3年10月1日現在を基に作成)

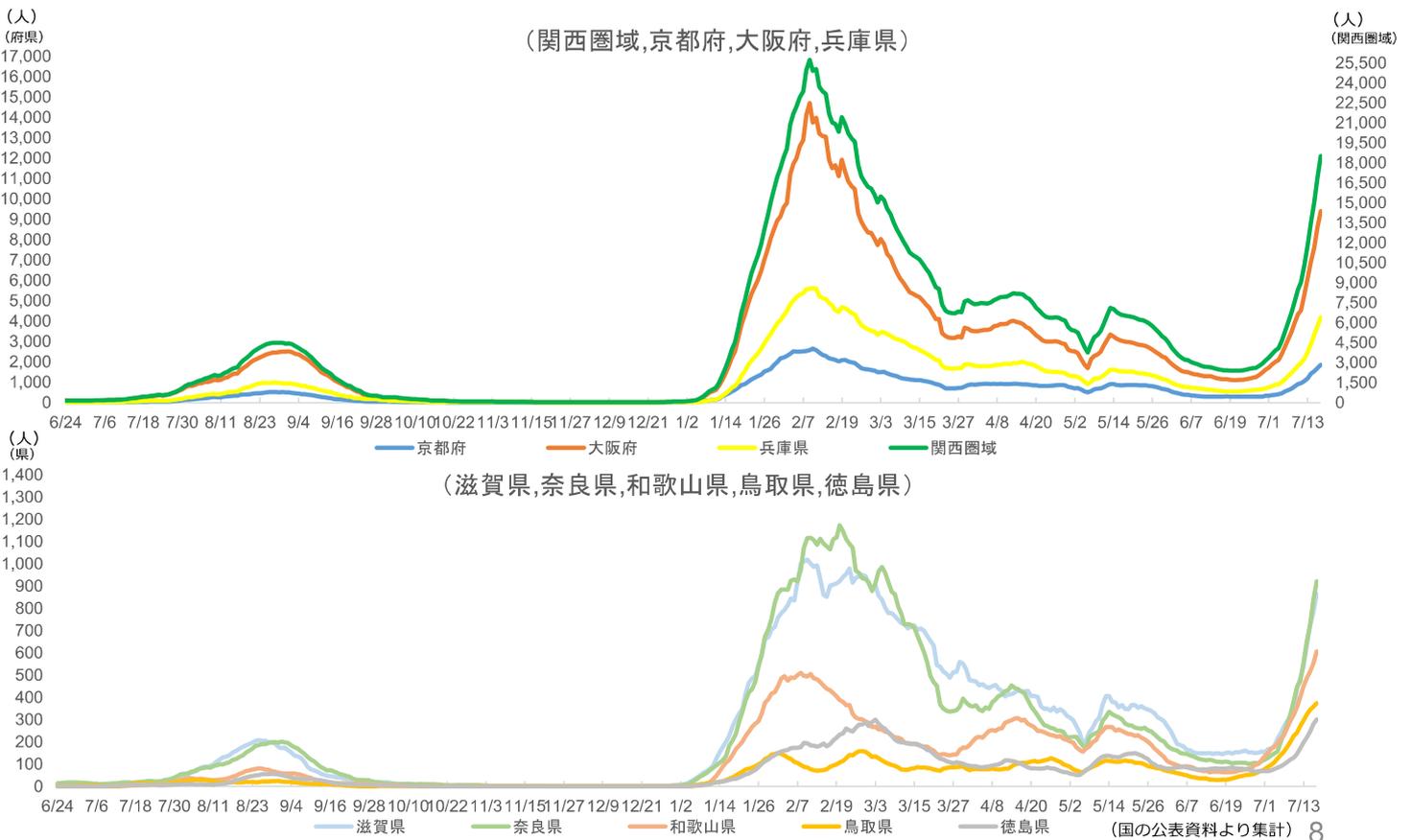
6 第5波から第7波の新規感染者の状況

(人) 1週間移動平均



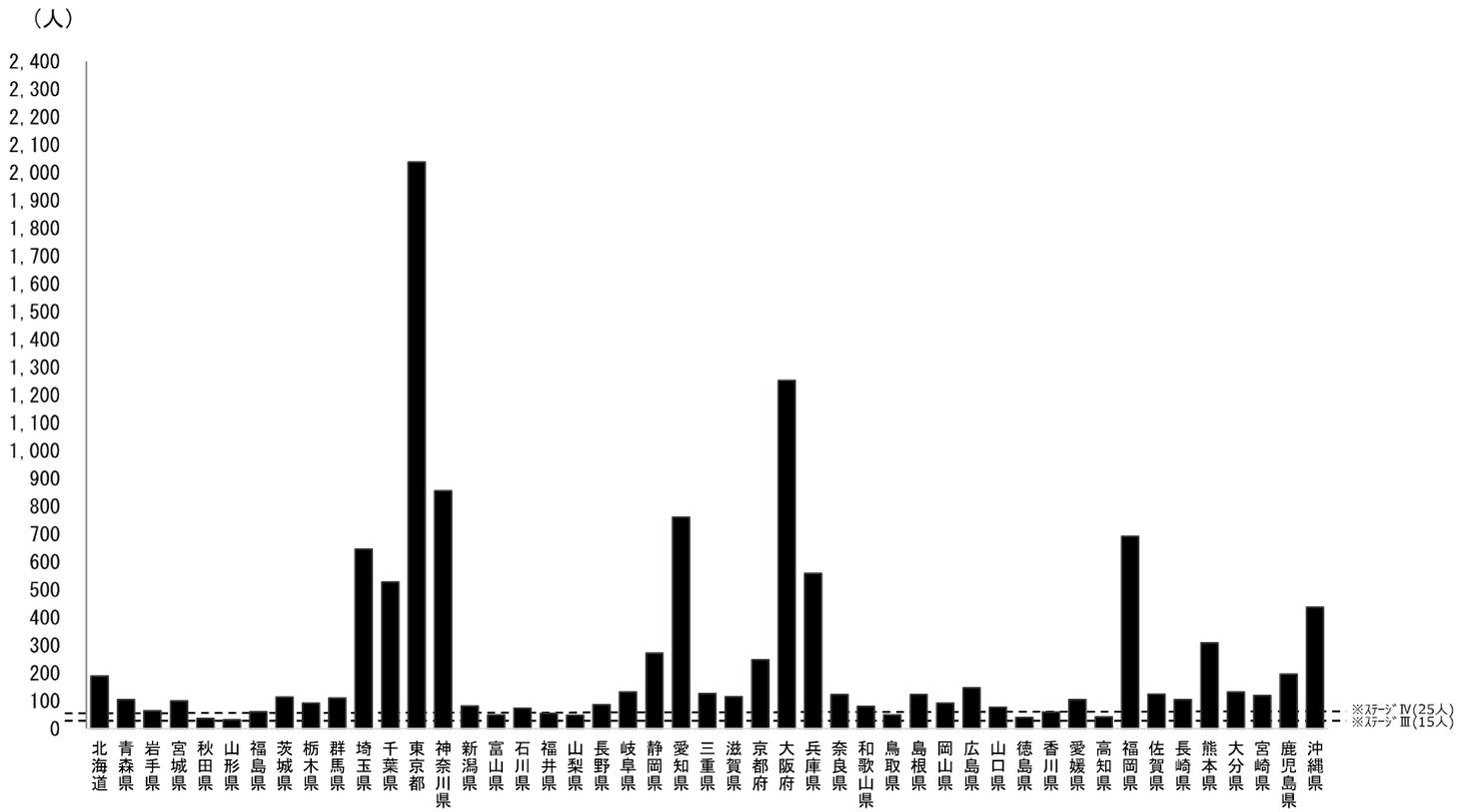
7

(参考1) 関西圏域における新規感染者数の推移 (R3.6.24~、1週間移動平均)



6

(参考2) 人口10万人に対する直近1週間の感染者数(7/11~7/17)



※政府分科会 従前のステージ判断基準

(報道資料を基に作成)

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県
外出自粛	<ul style="list-style-type: none"> 外出自粛を要請していない 	<ul style="list-style-type: none"> 旅行、帰省等の移動や、人が集まる場所では、混雑状況に気を付け、基本的な感染対策等、感染リスクを回避する行動をとる 高齢者や基礎疾患のある方、これらの方と日常的に接する方は、感染リスクの高い場所への外出・移動を控える 体調不良時は外出を控える 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者及び同居家族等日常的に接する方は、感染リスクが高い場所への外出・移動を控えること 	<ul style="list-style-type: none"> 外出時には混雑している場所や時間を避けて少人数での行動を要請 食べながらの会話など、感染リスクが高い行動の自粛を要請 帰省・旅行の場合や、<u>感染不安を感じる無症状者の検査受検を要請</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 外出時には、感染防止策を徹底し、十分用心する ふだん同居していないメンバーとの活動は、交通機関や車による移動でも注意 	<ul style="list-style-type: none"> 安全な生活・安全な外出を心がける 県外へ外出する場合は、基本的な感染予防対策を徹底した上で、感染リスクの高い行動は控える 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な感染対策の徹底、感染リスクの回避、感染対策が徹底された飲食店の利用 県外先の自治体の要請や情報を踏まえた行動をするとともに、帰県後は無料検査を積極的に受ける 	<ul style="list-style-type: none"> 県外から県内に移動される場合は、本県が用意している「事前PCR検査」や、居住地の一般検査など、無料の検査制度を積極的に活用
イベントの開催制限	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 業種別ガイドラインの遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる 	<ul style="list-style-type: none"> 国の基準に準ずる ガイドラインや感染防止安全計画に沿った感染防止対策を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 同左 同左
施設の 使用制限	<ul style="list-style-type: none"> 飲食店 等 飲食店以外の施設 ・商業施設 ・サービス業等 	<ul style="list-style-type: none"> 適切な感染対策が講じられているお店（認証店）を利用 会話の時はマスクを着用 お店では大声で話さない 余裕を持った配席で、長時間に及ばないようにする 	<ul style="list-style-type: none"> [認証店舗以外] 同一グループ・同一テーブル4人以内要請（5人以上不可） 利用者に対し、2時間程度以内での利用を求めること 	<ul style="list-style-type: none"> [認証店舗] 認証店認証基準の遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 換気・マスク着用・飛沫防止措置をお願い 第三者認証制度の推進 業種別ガイドラインを遵守 	<ul style="list-style-type: none"> 各事業所で感染拡大予防ガイドラインを遵守 飲食・カラオケは気をつけて、換気にも注意 イベントや催物を行う場合は気をつけて 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 第三者認証制度の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施
		<ul style="list-style-type: none"> 会食は認証店舗で感染リスクを下げる工夫をして行う 業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、感染予防対策を十分に実施 	<ul style="list-style-type: none"> [全ての店舗] 利用者に対し、マスク会食の徹底を求めること カラオケ設備を利用する場合は、利用者の密を避ける、換気の確保等、感染対策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> [認証店舗以外] 酒類提供の場合は、アクリル板の設置等、一定の要件を満たすこと 「新型コロナ対策適正店認証」取得の推奨 				<ul style="list-style-type: none"> [全ての店舗] 飲食以外の会話時の適切なマスク着用の推奨 利用者の密の回避、手指消毒設備の設置、効果的な換気（二方向の窓開けや気流を阻害しないパーティションの配置等）など業種別ガイドライン等に基づく感染対策の徹底を要請

※政令市においては、独自の方針がある場合にのみ記載

区分	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	徳島県
学校、大学等	<p>[県立学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各教科等における「感染症対策を講じてもおお感染リスクの高い学習活動」については適切な感染対策を行った上で実施 部活動は、可能な限り感染症対策を行った上で、合宿や泊を伴う活動も含め通常の活動が可。<u>(ただし、レベル2への引き上げに伴い、活動実施地域の感染状況や都道府県の対応等確認し、感染防止対策を徹底)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、保育所等で決められた感染対策のルールを守る 毎朝の検温等、子どもの体調管理を行い、家族を含めて発熱等の症状がある場合は登校登園を控える 学校等の休業期間においても感染リスクが高い行動を控える 	<p>[大学等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱等の症状がある学生は、登校や活動参加を控えるよう、周知徹底 旅行や自宅・友人宅での飲み会、部活動や課外活動における感染リスクの高い活動（合宿等）や前後の会食における感染防止対策の徹底 	<p>[県立学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校に持ち込まない、学校内に広げない」を基本に、十分な感染防止対策を実施 宿泊を伴う活動は、県内・県外とも、感染対策が確認される宿泊施設に限定する（学校は不可） マスク着用は、学校衛生管理マニュアル等を基本としつつ、熱中症リスク等を考慮して対応 教職員に対し、ワクチン接種を呼びかけるとともに、感染リスクの高い行動等を自粛するよう指導 <p>(神戸市)</p> <p>[市立学校]</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校衛生管理マニュアルに沿った感染対策を実施 熱中症対策を優先し、運動時や登下校時などは積極的にマスクを外すよう指導 部活動での宿泊を伴う活動は、感染防止対策が講じられている宿泊施設に限定（学校は不可） 	<ul style="list-style-type: none"> 学校、保育所に対して感染対策責任者による感染予防対策の励行をお願い 	<ul style="list-style-type: none"> 学校・教育現場での感染予防対策の徹底 部活は、練習試合や合同練習等は慎重に行うこと 各競技団体等のガイドラインが示す感染予防対策を徹底した上で活動 移動、更衣、飲食等、部活動に付随する場面も注意 本人及び家族に発熱等の症状があれば、厳に登校しないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育活動及び学校行事は、感染防止対策を一層徹底の上実施 保育施設は、県ガイドラインを参考に感染防止対策を徹底 部活動は、感染防止対策を一層徹底の上、県及び各競技団体が定めるガイドラインに則って実施 クラスター未然防止・早期対応のため、子ども関連施設及び学校特命チームにより施設指導等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 「部活動顧問用チェックリスト」や、「屋内運動部活動における感染拡大防止チェックリスト」「県総体感染対策徹底シート」を活用した、感染防止対策の徹底を確認 部活動において陽性者が発生した場合等は部員等に対し抗原検査を実施 <p>[児童等利用施設]</p> <ul style="list-style-type: none"> 「専門電話相談窓口」の開設や、県ガイドライン及びチェックリストに基づき、感染防止対策を徹底 検査を希望する幼稚園・保育所等職員を対象に、<u>抗原定性検査キットを配布し集中的な「抗原検査」を実施</u> <p>[大学・専門学校等]</p> <ul style="list-style-type: none"> 大学等からの要請に基づく「抗原定性検査キット」の配布 県の「大規模集団接種」による「ワクチン接種」の推奨 学生等への「薬局等における一般検査」や帰省時における「事前のPCR検査」の推奨
事業所等	<ul style="list-style-type: none"> 業種別感染拡大予防ガイドラインに基づく感染防止策の徹底 テレワーク・時差出勤の活用など職場での感染対策を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 業種別ガイドラインの遵守 在宅勤務等、人との接触を低減する取組の推進 職場の感染対策を再点検し、居場所の切り替わりでの注意喚起を徹底 	<ul style="list-style-type: none"> テレワークの活用、時差出勤、自転車通勤等、人との接触を低減する取組を進めること 重症化リスクのある従業員等への就業上の配慮 業種別ガイドラインの遵守 高齢者施設での面会は原則自粛 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務(テレワーク)取組の協力依頼 感染防止取組の徹底及び事業継続計画の取組の要請 業種別ガイドライン等の実践 重症化リスクのある労働者等への就業上の配慮 <p>(神戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 職場への出勤について、<u>在宅勤務(テレワーク)や時差出勤の活用等により、柔軟な働き方を推進するほか、事業継続計画の実施準備及び計画に基づく取組を行う。</u> 	<ul style="list-style-type: none"> 感染防止策の継続 高齢者施設等に対して感染対策責任者による感染予防対策の取組をお願い 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の再点検及び早期策定の推進 在宅勤務を積極的に活用 	<ul style="list-style-type: none"> 事業継続計画の再点検及び早期策定の推進 テレワークや時差出勤・交代勤務の促進 	<ul style="list-style-type: none"> 従業員やその家族の体調管理や無料検査の受検への配慮 これまでの感染対策の再チェック クラスター発生時の迅速な封じ込め体制確保
若年層のワクチン接種率向上への取組	<ul style="list-style-type: none"> 県HPやYouTubeで若年層向けにワクチン接種の解説動画やパンフレットを掲載 県の広域ワクチン接種会場で、10歳代から20歳代の若年層の接種を促進するため、「学生・若者枠(18歳～29歳)」を設定 7月21日～8月15日までを「夏休みワクチン接種促進強化期間」として接種機会を拡大するとともに、効果や接種期限についての情報発信を市町と連携して実施 	<ul style="list-style-type: none"> 京都タワー会場において、大学・企業等の団体接種を実施 6月から大学・企業等の希望により、医療従事者、事務スタッフ、ワクチン等の資材、接種及び待機場所となるバス車両の派遣を開始 <p>(京都市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現役世代が手に取る地域のフリーペーパーに啓発広告を掲載 大学生や留学生、企業等を対象としたメールマガジン等で啓発を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 30代以下の府民をターゲットに、SNS等を活用した広報・啓発を実施 大学等を対象とした府大規模接種会場での団体接種を新たに実施。参加大学を府HPで公表 経済団体を通じ、企業に若年層をはじめ従業員等の接種促進に向けた協力を働きかけるとともに、協力企業を府HPで公表 <p>(大阪市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市HPに若年層向けの特設ページを掲載し、ワクチン接種の正しい知識や効果と副反応について記載 若年層に不安を解消してもらうための特設ページを作成 <p>(堺市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 集団接種会場での夜間接種や予約無し接種を実施 集団接種会場にお子様見守りスタッフを配置 	<ul style="list-style-type: none"> 若年層向けインターネット広告を作成し、追加接種について啓発 県大規模接種会場における予約なし接種を実施し、付近の大学等に、取組等の広報活動を実施 県内大学から大規模接種会場への送迎にあたり国補助への県独自の追加支援を実施 令和4年5月を「新型コロナウイルスワクチン接種促進月間」と位置づけ、県内市町とも連携して、多様な接種促進策を展開 <p>(神戸市)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日夜間用の集団接種会場を設置 大規模接種会場にて企業・大学等の団体接種を受付 	<ul style="list-style-type: none"> テレビCMやYouTubeでの動画配信、県立大学等における動画CM放映、県の職域ワクチンを活用した大学生向け接種 県外在住者の内、県内への通勤・通学者も広域接種会場での接種対象に加えたほか、当日予約も実施。さらに、大学、企業等からの団体予約も受付開始 	<ul style="list-style-type: none"> 12～17歳向けの集団接種をショッピングモールで実施（市主催） 	<ul style="list-style-type: none"> 新成人へのプレゼントキャンペーンを展開 大学生などを対象とした県営会場への送迎支援や就職活動中の学生を対象とするプレゼントキャンペーン等を実施 予約なし接種の実施 妊婦・若年層とその同居家族への優先枠を設定 ターミナル駅や大学等から接種会場へシャトルタクシー・バスを運行 企業・団体・学校等にワクチンバスを派遣し、オンデマンド型の接種を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ワクチンに関する疑問を持つ高校生からの質問に、医師や接種を終えた看護学生が答える動画を作成し、県庁舎や市町村、SNS等で発信 大規模接種会場における夜間接種日の追加、予約なし接種の開始 大規模接種会場において、<u>中学生・高校生及びその保護者を対象とした予約無しの3回目接種を実施</u>

※政令市においては、独自の方針がある場合のみ記載

新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制等

令和4年7月21日

広域医療局

1. ワクチン追加接種の状況

(7月13日時点)

府縣市名	追加接種		1回目接種 (参考)	2回目接種 (参考)
	接種回数	接種率	接種率	接種率
滋賀県	862,710	60.80%	80.88%	80.38%
京都府	1,486,358	58.74%	79.46%	79.00%
京都市	(795,328)	56.78%	78.10%	77.60%
大阪府	4,902,756	55.46%	77.80%	77.37%
大阪市	(1,425,201)	52.02%	75.58%	75.10%
堺市	(472,331)	56.81%	78.45%	78.03%
兵庫県	3,273,114	59.26%	79.80%	79.37%
神戸市	(866,030)	56.72%	79.04%	78.54%
和歌山県	588,614	62.32%	79.20%	78.82%
鳥取県	343,947	61.77%	79.93%	79.45%
徳島県	472,032	64.23%	81.23%	80.80%
計	11,929,531	58.05%	79.00%	78.56%

(参考)

奈良県	833,175	61.96%	80.89%	80.48%
-----	---------	--------	--------	--------

〔出典〕 ワクチン接種状況ダッシュボード（VRS）

※厚生労働省からの提供資料（7月13日時点）より作成

2. 検査実績

[]内……人口10万人当たり検査実績

府県市名	6/6～6/12		6/13～6/19		6/20～6/26	
滋賀県	890件/日	[63件/日]	633件/日	[45件/日]	656件/日	[46件/日]
京都府	1,823件/日	[72件/日]	1,696件/日	[67件/日]	1,711件/日	[68件/日]
京都市	(1,521件/日)	[109件/日]	(1,584件/日)	[113件/日]	(1,939件/日)	[138件/日]
大阪府	10,619件/日	[120件/日]	10,061件/日	[114件/日]	10,223件/日	[116件/日]
大阪市	(4,840件/日)	[177件/日]	(4,380件/日)	[160件/日]	(4,853件/日)	[177件/日]
堺市	(368件/日)	[44件/日]	(332件/日)	[40件/日]	(475件/日)	[57件/日]
兵庫県	2,590件/日	[47件/日]	2,529件/日	[46件/日]	2,564件/日	[46件/日]
神戸市	(807件/日)	[53件/日]	(811件/日)	[53件/日]	(860件/日)	[56件/日]
和歌山県	923件/日	[98件/日]	779件/日	[82件/日]	930件/日	[98件/日]
鳥取県	475件/日	[85件/日]	439件/日	[79件/日]	691件/日	[124件/日]
徳島県	589件/日	[80件/日]	607件/日	[83件/日]	616件/日	[84件/日]
計	25,445件/日	[124件/日]	23,851件/日	[116件/日]	25,518件/日	[124件/日]

※京都市検査実績については、別途実施している「高齢者施設における重点検査」が含まれる。

(参考)

奈良県	949件/日	[71件/日]	862件/日	[64件/日]	946件/日	[70件/日]
-----	--------	---------	--------	---------	--------	---------

〔出典〕厚生労働省「データからわかる－新型コロナウイルス感染症情報－」〔府県〕

各市回答データ〔市〕

令和3年1月1日住民基本台帳人口（人口10万人当たり検査実績算定）

3. 療養状況等及び入院患者受入病床数等

（6月29日時点）

府県市名	【入院】				【宿泊療養】	
	使用病床数 / 確保病床数	[使用率]	うち重症者用		使用居室数 / 確保居室数	[使用率]
滋賀県	42床 / 503床	[8.3%]	0床 / 52床	[0.0%]	52室 / 630室	[8.3%]
京都府	112床 / 960床	[11.7%]	7床 / 171床	[4.1%]	114室 / 1,126室	[10.1%]
大阪府	510床 / 4,130床	[12.3%]	123床 / 1,471床	[8.4%]	731室 / 11,216室	[6.5%]
兵庫県	154床 / 1,529床	[10.1%]	1床 / 142床	[0.7%]	144室 / 2,411室	[6.0%]
和歌山県	62床 / 588床	[10.5%]	0床 / 26床	[0.0%]	28室 / 178室	[15.7%]
鳥取県	16床 / 350床	[4.6%]	0床 / 47床	[0.0%]	79室 / 459室	[17.2%]
徳島県	29床 / 263床	[11.0%]	0床 / 25床	[0.0%]	47室 / 500室	[9.4%]
計	925床 / 8,323床	[11.1%]	131床 / 1,934床	[6.8%]	1,195室 / 16,520室	[7.2%]

(参考)

奈良県	29床 / 522床	[5.6%]	2床 / 36床	[5.6%]	72室 / 1,083室	[6.6%]
-----	------------	--------	----------	--------	--------------	--------

〔出典〕厚生労働省「療養状況等及び入院患者受入病床数等に関する調査」

【参考1】小児（5～11歳）へのワクチン接種の状況

(7月13日時点)

府県市	1回目			実施箇所数 (箇所) ※予定を含む	各府県市における取組状況
	接種回数	対象者数 (人)	接種率		
滋賀県	12,616	95,355	13.23%	114	・地域の医療機関での接種が困難とされた小児に対する接種体制を構築した。 ・小児接種の必要性や安全性をわかりやすくまとめた動画作成・SNS広告配信による啓発。
京都府	15,469	144,947	10.67%	115	・医療関係団体に対し、小児へのワクチン接種の協力要請を実施。 ・医療従事者の派遣による接種体制整備の支援。
京都市	(5,172)	(75,378)	6.86%	約105 (予定を除く数字)	・接種券のお届け [2月28日：9歳～11歳，3月4日：5歳～8歳] ・接種が推奨されている重症化リスクの高い基礎疾患を有する小児の優先接種を実施 [優先接種期間：3月7日～3月18日] ・接種を希望される全ての小児への接種を実施 [3月19日以降] ・本市が設置する集団接種会場での接種を実施 [3月20日以降] ・小児への個別接種を行う医療機関への支援金の支給
大阪府	35,987	504,804	7.13%	約750	・看護師が常駐する専門相談窓口を24時間体制で設置。 ・かかりつけ医等での対応が困難な場合における専門的な医療機関での診療体制を整備。 ・医師会等に対し小児へのワクチン接種の協力要請を実施。
大阪市	(7,901)	(140,193)	5.64%	約300	・小児科もしくは小児の診察を行う医療機関で接種を行っている。3月10日から接種開始。 ・新型コロナウイルスワクチンの夏休み中の接種を勧奨するために、厚生労働省提供のチラシを活用し、7月中に小学校へ配布し啓発する予定。
堺市	(3,291)	(50,434)	6.53%	66	・対象者へ、3月4日に接種券を発送。 ・個別接種会場（医療機関）は、3月9日以降、準備が整った医療機関から予約・接種を順次開始。 ・集団接種会場（医療機関）は、3月10日から予約受付、3月14日から接種開始。 ・5月1日から6月12日まで、集団接種会場（地域会場）1か所で小児接種を実施。
兵庫県	31,610	332,264	9.51%	約380	・市町を越えた広域的な接種体制を構築。 ・小児の感染状況やワクチンの効果や安全性、副反応に関して、専門家の説明動画を発信。
神戸市	(7,381)	(88,659)	8.33%	個別医療機関 市内161か所	・こども向け専用窓口（こども健康相談窓口）の設置。
和歌山県	5,334	52,405	10.18%	73	・小児科医の人的資源が乏しい市町村については広域的な接種体制を構築した。
鳥取県	6,817	33,649	20.26%	75	・県内の医療機関に対する説明会を実施し、協力を呼びかけた。また県内3圏域で小児の広域接種を実施することとなり県内の小児接種体制が整った。 ・小児接種の勧奨、啓発のため、市町村に文書で協力を呼びかけるとともに、県でチラシを作成し、医療機関や学校等に配布するほか、TVCMやインフォマーシャルを作成し様々なメディアを通じて発信している。 ・夏休みに向けて、保護者への接種勧奨を進めるほか、小児接種のための臨時接種会場を設置して小児接種実施。
徳島県	6,840	40,424	16.92%	63	・市町村域を越えて接種できる「広域接種体制」を構築し、予約についても統一したコールセンターとウェブサイトから申し込みができるようにしている。 ・国リーフレットを印刷し、市町村窓口、医療機関、保育所等に配布。 ・小児接種を案内するTVCMを放送。
奈良県	7,933	77,170	10.28%	99 (個別接種 73) (集団接種 26)	・接種を希望する小児の身体状況等に応じて接種する体制を構築した。

〔出典〕各府県市からの回答
ワクチン接種状況ダッシュボード（VRS）
※厚生労働省からの提供資料（7月13日時点）より作成

【参考2】12～17歳へのワクチン追加接種の状況

(7月13日時点)

府県市	3回目			各府県市における取組状況
	接種回数	対象者数 (人)	接種率	
滋賀県	21,106	85,327	24.74%	<ul style="list-style-type: none"> 接種体制の構築状況の把握。 3回目接種の効果や副反応についてわかりやすくまとめた若年層向け動画作成・SNS広告配信による啓発。
京都府	26,343	135,373	19.46%	<ul style="list-style-type: none"> 接種体制の構築状況の把握。 医療従事者の派遣による接種体制整備の支援。 若年層への接種の呼びかけの強化（SNSの活用、動画配信など）
京都市	(11,628)	(69,903)	16.63%	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年4月14日から対象となる方へ順次、接種券をお届けし、市内の医療機関で接種開始。 4月29日から集団接種会場での接種を開始。
大阪府	69,063	466,717	14.80%	<ul style="list-style-type: none"> 看護師が常駐する専門相談窓口を24時間体制で設置。 かかりつけ医等での対応が困難な場合における専門的な医療機関での診療体制を整備。 若年層の接種促進に向けた広報啓発の集中取組。
大阪市	(14,982)	(123,566)	12.12%	<ul style="list-style-type: none"> 接種対象者へ4月22日に接種券を発送。 個別接種会場では、準備が整った医療機関より予約・接種を順次開始。 集団接種会場では、4月26日から予約、4月29日から接種開始。 新型コロナウイルスワクチンの夏休み中の接種を勧奨するために、厚生労働省提供のチラシを活用し、7月中旬に中学校へ配布し啓発する予定。
堺市	(7,256)	(47,482)	15.28%	<ul style="list-style-type: none"> 4月8日に、接種券を対象者へ発送。個別接種会場（医療機関）は準備が整い次第、順次接種開始。集団接種会場（医療機関）は、4月11日から予約受付開始。
兵庫県	57,133	303,839	18.80%	<ul style="list-style-type: none"> 若年層向けインターネット広告を作成し、追加接種について啓発している。
神戸市	(12,226)	(80,778)	15.14%	<ul style="list-style-type: none"> 接種場所 個別接種医療機関（約830医療機関） 集団接種会場（市役所24階） こども向け専用窓口（こども健康相談窓口）の設置。 市役所24階会場の12歳～17歳専用予約枠を設定。※約5,000枠（6月末まで） 市役所24階会場での「接種券なし接種」の実施。（令和4年4月17日終了）
和歌山県	10,420	49,020	21.26%	<ul style="list-style-type: none"> 対象年齢者向けの集団接種（市主催）をショッピングモールで実施。
鳥取県	8,690	30,301	28.68%	<ul style="list-style-type: none"> 接種の啓発のため、インターネット広告やチラシを作成し様々なメディアを通じて発信している。また、各市町村のファイザー社製ワクチンの過不足数の再調査により、全市町村で必要量を確保できる見込み。引き続き、必要に応じて市町村間のワクチンの融通調整を実施する。 今後、教育委員会とも連携して、引き続き接種動員に努めていく。
徳島県	9,604	37,306	25.74%	<ul style="list-style-type: none"> 希望する者への接種を速やかかつ円滑に行えるよう、県・市町村実務者会議を開催し、接種体制の確保、接種券の発送準備、ワクチンの過不足状況を共有。 必要に応じて、県が市町村間のワクチンの融通調整を実施。 大規模接種会場において、中学生・高校生及びその家族を対象とした予約なしの3回目接種を実施（7/24）
奈良県	15,597	73,772	21.14%	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会等と連携し、公立高校や私立学校等において、ワクチン接種に関する情報発信を依頼。 市町村に対しても、必要に応じて小・中学校等における情報発信等について、市町村教育委員会と連携した対応等について検討を依頼。

〔出典〕各府県市からの回答

ワクチン接種状況ダッシュボード（VRS）

※厚生労働省からの提供資料（7月13日時点）より作成

【参考3】4回目接種について

(7月13日時点)

府県市	取組状況	課題等
滋賀県	<ul style="list-style-type: none"> ・市町担当者会議を随時開催し、情報共有を図ることで円滑な接種の推進を図っている。 ・県内2カ所に開設している県広域ワクチン接種センター（大規模接種会場）において、6月10日から接種できる体制を構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目接種の効果と副反応について、県民に向けて分かりやすい情報提供を行う必要がある。
京都府	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村における接種券発送の方法やスケジュールについて情報を把握し、円滑な接種の推進を図っている。 ・府内3ヶ所に開設している府主導の接種会場において、5月26日から接種できる体制を構築。 ・高齢者施設へのワクチン接種チーム派遣 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村と連携し、4回目接種を希望される方の接種が進むように引き続き広報・周知等を行う必要がある。
京都市	<ul style="list-style-type: none"> ・対象となる基礎疾患をお持ちの方を行政が個々に把握していないため、5月31日から、3回目接種から5か月を経過する18歳以上の全員に順次接種券をお届け。 ・これまでと同様に、「個別接種」と「集団接種」を併せて行う体制を確保。3回目の住民接種開始（令和4年1月20日）から5か月経過する6月20日から集団接種の予約を受け付け、7月1日から接種を開始している。 ・高齢者施設（入所・居住系）の入所者と基礎疾患等を有する施設従事者を対象に、3回目接種までと同様、施設内での接種を順次、実施している。 	-
大阪府	<ul style="list-style-type: none"> ・第6波において高齢者施設等でクラスター等が多数発生したことから、高齢者施設等における接種促進に向けた下記の取組を実施。 <ul style="list-style-type: none"> ○府巡回接種チームの創設 ○接種券の代行手配 ○進捗管理に係る市町村への支援 ・府内に大規模接種会場を設置し、府民の4回目接種を促進（6/24～）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接種対象者の範囲について、4月28日付け国事務連絡において「引き続き様々な情報を収集しながら、検討を行っていくこととなる」とされているが、現時点においても医療従事者等への接種の取扱いが明確に示されていないこと。
大阪市	<ul style="list-style-type: none"> ・誤り接種がないように本市ホームページやポスター等で周知を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目の接種券発送については、60歳以上の方及び3回目接種から5か月以上経過した18歳以上のすべての市民に発送するが、接種対象者は、60歳以上の方及び基礎疾患のある18歳以上の方であることから、誤り接種がないように周知する必要がある。
堺市	<ul style="list-style-type: none"> ・5月27日から、3回目接種から5か月を経過する60歳以上の方に4回目接種券を順次発送。18歳以上60歳未満の基礎疾患のある方、重症化リスクが高いと医師が認める方等には、電子申請、電話、郵送で申請を受け付けて接種券を発送。 ・個別接種会場（医療機関）は、接種券が届き次第接種可能。集団接種会場（医療機関）は6月13日から接種開始。2カ所に縮小していた集団接種会場（地域会場）は、6月20日から7カ所に拡大して接種開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目接種の趣旨、ワクチン接種の効果や副反応などについて、対象者への丁寧な広報と情報提供。 ・現時点において、接種期間が令和4年9月30日までであるため、接種時期が10月以降になる対象者への問合せに明確な説明ができない。

府県市	取組状況	課題等
兵庫県	<ul style="list-style-type: none"> ・県内2ヶ所に開設している県主導の大規模集団接種会場において、6月14日から接種できる体制を構築。 ・事前予約だけでなく、当日予約も受付し、接種を推進。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接種の意義を周知するための効果的な広報が必要。
神戸市	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の方については、3回目の接種から5カ月経過後を目途に順次接種券を発送（初回発送は令和4年5月31日）。 ・60歳未満の基礎疾患を有する方等については、郵送による紙の接種券のほか、申請後、即時にお手元に届く「こうべE-mail接種券」を新たに導入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来と異なり対象者が限定される点や接種目的が発症予防でなく重症化予防である点の周知。 ・医療従事者や介護従事者を含め、今回の対象とならない人で打ちたい人がいたときの対応。 ・今後対象者が拡大された場合の対応。
和歌山県	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村から情報収集を行い、接種券の発送日程や基礎疾患者等に対する発送方法について情報を共有。 ・高齢者施設等の想定終了時期を市町村に示し、高齢者施設等との日程調整を市町村に依頼。また、県高齢者部局から高齢者施設に対し可能な限り早期に接種を受けるよう働きかけを実施。 ・初回接種・3回目接種と平行しての接種により接種事務が複雑化することから、間違い接種を防止するため、ワクチン・接種回数別のワクチン取扱いを纏めた医療機関向け情報資料を作成し、市町村に提供。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点において、接種期間が令和4年9月30日までであるため、接種時期が10月以降になる対象者への問合せに明確な説明ができない。 ・モデルナワクチンの配分比率が高く、ファイザーワクチンが不足する可能性がある。
鳥取県	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村との接種体制協議会を随時開催し、接種券発送の日程や高齢者施設における接種方法等について情報を共有。円滑な接種の推進を図っている。 ・16市町村の集団接種会場で4回目接種を実施するほか、県営大規模集団接種会場でも随時受け入れる体制を構築済み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接種の意義を周知するための効果的な広報が必要。 ・現時点において、接種期間が令和4年9月30日までであるため、接種時期が10月以降になる対象者への問合せに明確な説明ができない。
徳島県	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村との実務担当者会議を随時開催し、接種券発送の日程や高齢者施設における接種方法等について情報を共有。円滑な接種の推進を図っている。 ・県内4ヶ所に開設している県主導の大規模集団接種会場において、5月25日から接種できる体制を構築。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接種の意義を周知するための効果的な広報が必要。 ・現時点において、接種期間が令和4年9月30日までであるため、接種時期が10月以降になる対象者への問合せに明確な説明ができない。
奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ・4回目接種を円滑に進めるため、市町村との間で2週間に1回開催している連絡会において、接種券の発送状況、4回目接種の開始時期について情報を共有。 ・県広域接種会場で6月9日より4回目接種を開始。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「BA.5」系統に対するワクチンの効果が弱いのではないかと一部報道されている中で、県民に対し、4回目接種の意義をどのように伝えていくかが課題。